【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2017-165772(P2017-165772A)
【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2017-036
【出願番号】特願2017-111807(P2017-111807)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　38/07　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　38/07
Ａ６１Ｐ　13/12
Ａ６１Ｐ　 9/10

【手続補正書】
【提出日】平成30年3月22日(2018.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
血管反応性の改善を必要とする被験体において血管反応性を改善するための医薬の製造における、ペプチドＤ-Ａｒｇ-２’，６’-Ｄｍｔ-Ｌｙｓ-Ｐｈｅ-NH_2またはその製薬上許容可能な塩を含む組成物の使用。
【請求項２】
被験体が、アテローム硬化性腎臓血管性疾患（ＡＲＶＤ）と診断されている、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
ＡＲＶＤが、正常対照被験体と比較して低減した腎臓血流量（ＲＢＦ）を含む、請求項２に記載の使用。
【請求項４】
ＡＲＶＤが、正常対照被験体と比較して低減した糸球体濾過率（ＧＦＲ）を含む、請求項２に記載の使用。
【請求項５】
治療が、被験体に血管再生術を実施することを含む、請求項１に記載の使用。
【請求項６】
血管再生術が、経皮経血管性腎臓血管形成術を含む、請求項５に記載の使用。
【請求項７】
血管再生術前、血管再生術後、血管再生術の最中および後、あるいは血管再生術の前、最中および後に連続的に、医薬が被験体へ投与される、請求項５に記載の使用。
【請求項８】
血管再生術後少なくとも３時間、血管再生術後少なくとも５時間、血管再生術後少なくとも８時間、血管再生術後少なくとも１２時間、または血管再生術後少なくとも２４時間、医薬が被験体へ投与される、請求項７に記載の使用。
【請求項９】

血管再生術の少なくとも８時間前に開始して、血管再生術の少なくとも４時間前に開始して、血管再生術の少なくとも２時間前に開始して、血管再生術の少なくとも１時間前に開始して、または血管再生術の少なくとも１０分前に開始して、医薬が被験体へ投与される、請求項７に記載の使用。

【請求項１０】

血管再生術が、腎動脈閉塞の除去を含む、請求項５に記載の使用。

【請求項１１】

血管再生術が、１つ以上の血栓溶解薬の投与を含む、請求項５に記載の使用。

【請求項１２】

１つ以上の血栓溶解薬が、組織プラスミノーゲン活性化因子、ウロキナーゼ、プロウロキナーゼ、ストレプトキナーゼ、アシル化型のプラスミノーゲン、アシル化型のプラスミンおよびアシル化ストレプトキナーゼ-プラスミノーゲン複合体からなる群から選択される、請求項１１に記載の使用。